

一部報道について

- 本日の日経新聞朝刊には、当社バイオマス事業について事実と異なる記載があります
- 当社は開発初期段階より国内材 100%のバイオマス発電所建設の検討をすすめ、グループ内の連携により安定調達かつコスト競争力あるバイオマス発電を実現しています

6月27日付の日本経済新聞朝刊「バイオマス発電、燃料争奪戦に 英で脱石炭火力、需要急増」において当社への言及がありましたが、当社バイオマス事業について事実と異なる記載が含まれておりますので、この記事に対する当社の見解をお伝えします。

当該記事では、当社がバイオマス事業を開始するにあたり、あたかも輸入材燃料の確保が難しいために代替策として国内材確保の買収を決定したかのように記載されています。また、その結果コストが割高になったとの記載もありますが、これらはいずれも事実ではありません。

当社は開発初期段階より、燃料の安定調達と国内のCO2削減に資する観点から国内材燃料100%を前提としてバイオマス発電事業の立上げを目指してきました。この目標の達成に向け、2015年9月には国内材による燃料チップ供給を行う株式会社エコグリーン（現株式会社エコグリーンホールディングス）を子会社化しましたが、これは発電所建設開始の2年前のことです。その後、グループ一丸となって燃料サプライチェーンの構築に取り組んだ結果、本年5月の当社バイオマス発電所第一号である神栖バイオマス発電所の運用開始に至りました。また、当社の利用するバイオマス燃料は、過半を建築廃材のリサイクルより調達しており、高いコスト競争力を有しています。

当社はこれからも、独自性あるビジネスモデルによるバイオマス発電所の安定運用に努め、日本のエネルギー自給率の向上とCO2削減に貢献して参ります。

<参考> JRE 神栖バイオマス発電所の概要

所在地	茨城県神栖市砂山
発電能力	24,400kW
年間発電量	約2億kWh/年 (約4万5000世帯分の年間消費電力相当)
燃料	建築リサイクル材と山林材
運転開始	2019年5月1日

詳細はこちら <http://www.jre.co.jp/works/biomass.html> (当社ウェブサイト)

本件に関するお問い合わせ先

ジャパン・リニューアブル・エナジー株式会社
広報 CSR 部
E-mail: pr@jre.co.jp